

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○ 学校教育目標の実現を目指して、活力と魅力あふれる学校づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教員が、子どもの考えを生かすことに意を用いた魅力ある授業づくりに取り組んでいます。 ・ 児童支援専任教諭を中心にした組織的な児童指導体制が確立しています。 ・ 保護者や地域の人材を積極的に活用した教育活動が行われています。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		児童を取り巻く環境も考慮に入れた温かくきめ細やかな指導を通して、児童の人権意識を高め、誰もが安心して豊かに生活できる学校づくりに努めている。	<p>①「児童の主体的な活動を通じた「挨拶運動」「黙働活動」の強化を図る。 指針4 豊かな感性や情操の育成</p> <p>②農園活動・読書活動の充実を図る。 指針2 体験活動の充実</p> <p>③たてわり活動・地域との交流活動（ふれあい給食、ケアプラザ・近隣保育園交流）の充実を図る。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成</p>
担当	児童指導部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

一人ひとりの児童は素直でやさしい。課題に対しても真面目に取り組む。反面、友達とのかかわりの中で相手の気持ちを考える前に、自己中心的な発言や言い方が強いがために、よりよい関係が上手ではない面がある。また、挨拶をはじめとして気持ちよい言葉づかいや集団の中でのかかわり方などについても消極的な傾向にある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針4 豊かな感性や情操の育成

・児童の主体的な活動を通じた「あいさつ運動」「黙働活動」の強化を図る。【視点11】

指針2 体験学習の充実

・年12回のたてわり活動（たてわり給食、たてわりピクニック、たてわり遊び）を充実させるとともに、高学年が責任をもって行動できる実践力や主体性、異学年同士の思いやりの心や協力する気持ちを育てる。【視点3】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

・交流活動の充実（ケアプラザとの交流、ふれあい給食、保育園の交流会）を図る。【視点6】

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。【視点1】